

別紙
市政懇談会『財政の健全化』 質疑・意見交換

質 問 ・ 意 見	回 答
◇ 議員に対する意見	
・夕張、赤平に続く財政赤字になったのは、理事者、市議会、職員のもたれ合いの結果だと思う。職員給与の削減だけではなく、理事者、議員も自ら自分たちをどうするのか職員にも示すべきで、それが見えてこない。議員報酬削減は9%である。理事者も職員も議会のことは口出しできないというのであれば、言えるのは市民である。伝えてほしい。 ・全国的にみても政務調査費など見直されてきている。ほとんど視察だと思うがこの状況でいかがなものか。 ・見直しは仕方ないが、まだ見直しすべきところがある。市議会の報酬は日当制になっているところもある。そうすることでプールも夏場だけでも使用できるのでは。 ・議員の定数は今後どのような見通しか。議員1人分で幌糠地区公民館は残せると思う。 ・市会議員の定数と議員報酬は税金でまかなっている。職員については削減が進められているようだが、定数削減、報酬カットについてはどこで決めるのか。 ・職員給与削減については計画に盛り込まれているが、議会については計画に一切示されていない。市長として申し入れできないのか。 ・議会の責任がある。議員の話が全くなく、議会からの発信もないのはおかしい。 ・市の職員ばかりでなく別な角度で、議員についても見直しが必要ではないか。厳しい財政状況を考慮し、報酬の返上や報酬ではなく費用弁償で支給してはどうか。 ・議員として積極的な意思表示があれば、市民もがんばろうという気持ちが高まるのではないか。	・議会でも12年、17年の財政健全化計画については充分議論されており、その中で議員削減もして現在の16名は人口比で全道の市の中では低く町村並みと思っている。 ・今回の計画についても、市民の痛みを感じながらしっかり議論されるものと思っている。ご理解願いたい。 ・議員も過去2回の財政再建計画でも議論し、今回も説明している。職員にも財政危機宣言を認識し今後の行政としての責任使命を果たして行きたいとのお願いをした。伝わっていると思う。 ・議会については、計画に盛り込むことは難しい。 ・日当、費用弁償制は矢祭町で実施しているようだが、行政、市民、議会の3つのバランスを考えたときに全国的に地方分権の中で議論されているところであり、今後議会でも議論されていくと思う。 ・意見として受け止めたい。